

～もしもの時に備えてやっていますか？～

動画で分かりやすい！



初期消火の
注意点

QRコードをかざして
説明動画を見よう！

消火訓練

通報・連絡訓練



119番
通報要領



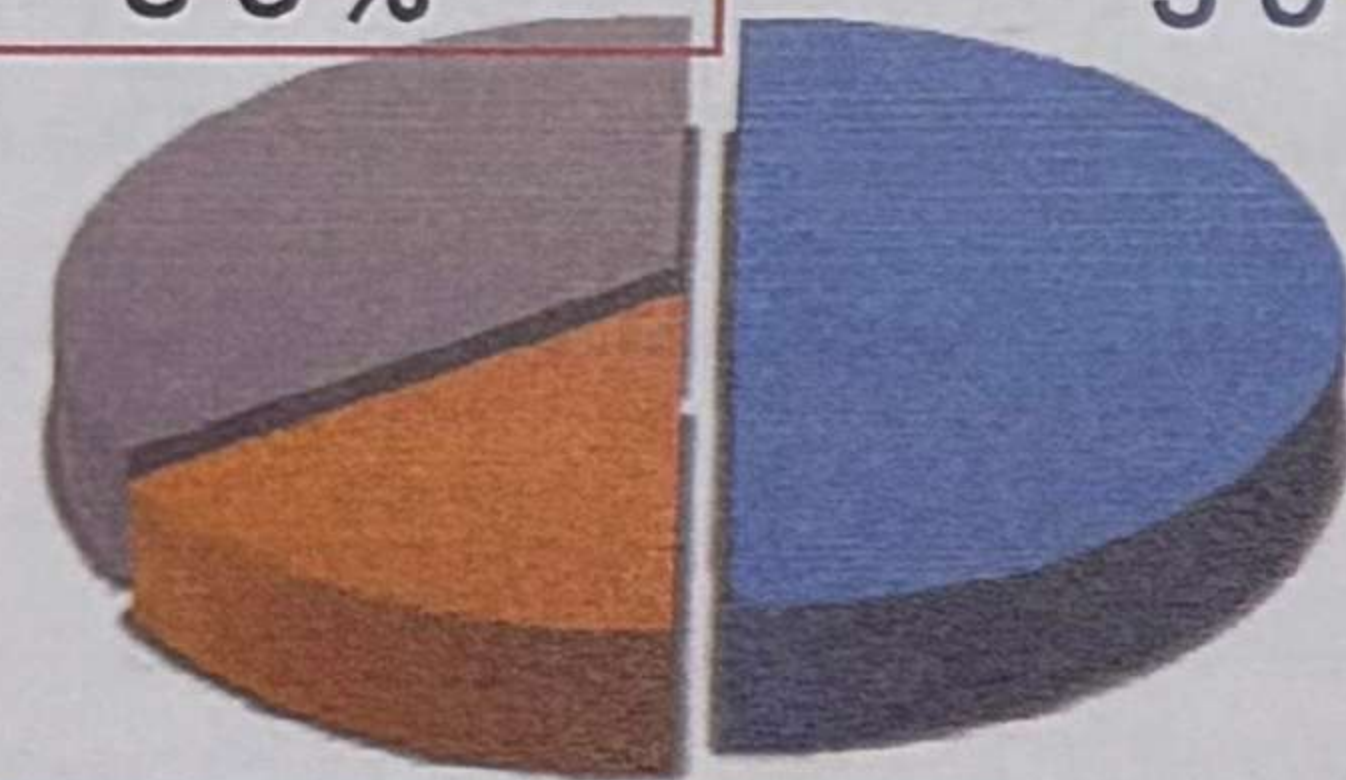
消火器を使用できますか？

できると答えた方・・・70%

消火器による初期消火の必要
があった火災(698件中)

使用できなかった。
35%

効果的に消火した。
50%



効果的に消火できなかった。
15%

いざというとき慌ててしまう！

※平成30年度版火災の実態

消火器

- ▶設置場所の確認
- ▶使い方の確認

- ① 火元の近くに運ぶ
- ② 安全ピンを抜く
- ③ ノズルを火元に向ける
- ④ レバーを握る
- ⑤ 放射する



消火器の
使用方法

屋内消火栓

- ▶設置場所の確認
- ▶使い方の確認

(例：1号の場合)

- ① 起動ボタンを押す
- ② ホースを伸ばす
- ③ バルブを開く
- ④ 放水する



総合訓練

火災が発生してから消防隊が
到着するまでの活動を訓練しましょう！



情報収集

- ▶火災発生場所・出火原因の確認
- ▶逃げ遅れた人がいないかの確認
- ▶初期消火が成功したかの確認

消防隊が到着したらわかる範囲で情報提供を！

自動火災報知
設備の仕組み



避難訓練

避難誘導

- ▶避難経路の確認

放送を聞いて、避難方向を指示しよう。
煙を吸わないように呼びかけよう。



応急救護訓練

応急手当

- ▶三角巾の使い方を確認
- ▶AEDの設置場所、
使い方を確認



救出・搬送

- ▶けがをした方の搬送方法を確認

(歩ける場合)

- ① 支持搬送

(歩けない場合)

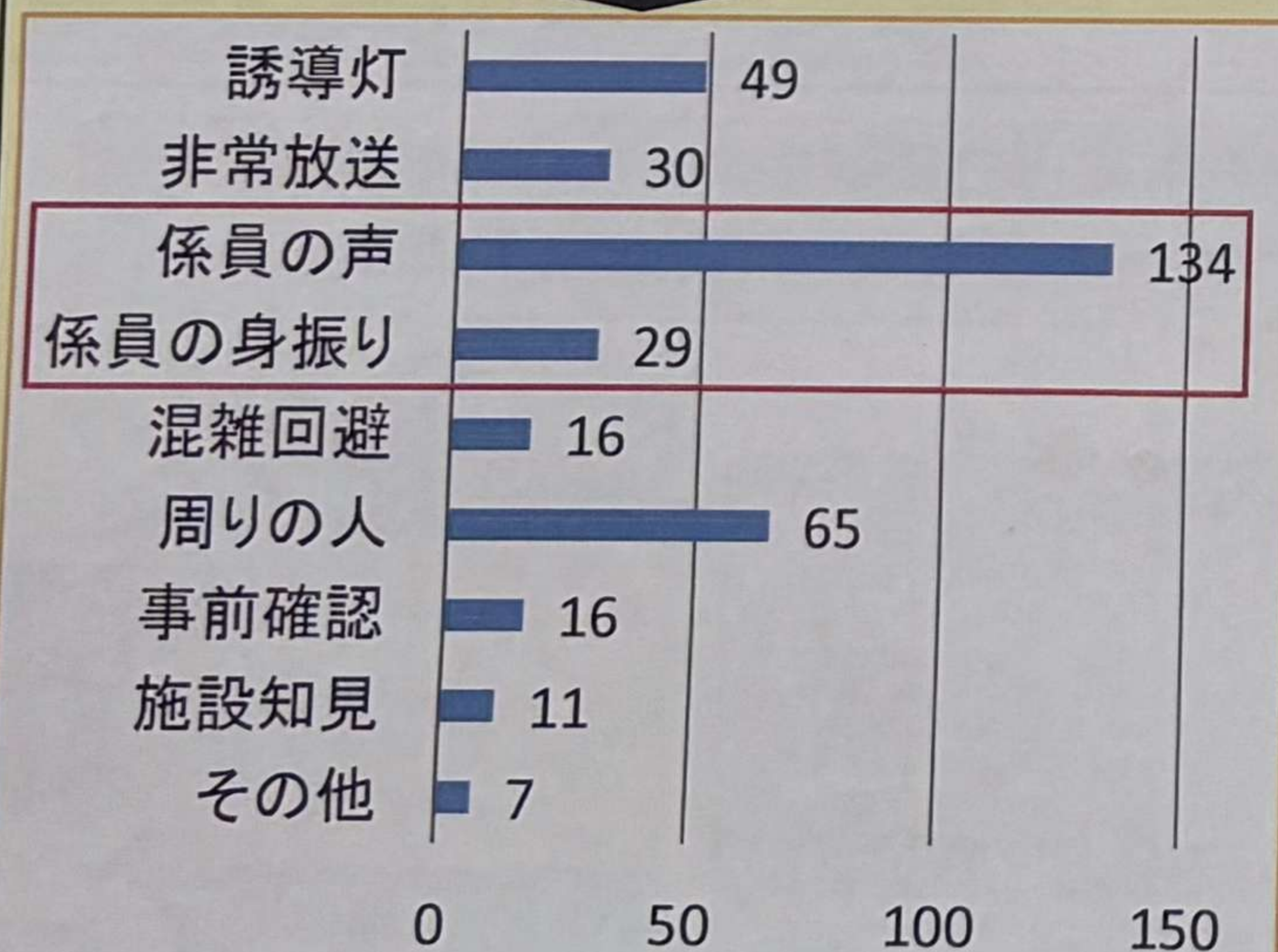
- ② 毛布、シーツ等を利用して移動する方法
- ③ 襟を引いて後方に搬送する方法



様々な
搬送方法

避難誘導の重要性

避難する人が避難の方向を決めた要因



係員の誘導が重要です！

※第22期火災予防審議会答申

地震

その時10のポイント



地震直後の行動

火災や津波 確かな避難

- ・地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- ・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

